

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に清須市商工会が行う中小企業景況調査から、同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

平成28年7月から9月の第2四半期を対象とし、調査時点は平成28年10月28日。

(2) 調査対象企業






清須市商工会地区内100企業。

内訳は、製造業20企業、建設業20企業、小売業20企業、飲食業20企業、サービス業20企業。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書の中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各項目調査についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については下記の通り。

雨	曇りのち雨	曇り	晴れのち曇り	晴れ
				
△100.0～△60.1	△60.0～△20.1	△20.0～20.0	20.1～60.0	60.1～100.0

3 設備投資の状況

業種	今期実施		今期実施	
	実施企業割合	主な投資内容	実施企業割合	主な投資内容
製造業	15.0%	土地、生産設備、付帯施設、その他	10.0%	生産設備、付帯施設、OA機器
建設業	20.0%	車両運搬具	15.0%	車両運搬具、その他
小売業	15.0%	車両運搬具、販売設備、付帯施設	10.0%	店舗
飲食業	10.0%	サービス設備、その他	10.0%	土地、建物、サービス設備
サービス業	30.0%	建物、サービス設備、車両運搬具、付帯施設	10.0%	OA機器

4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	21.9%
	2位	製品(加工)単価の低下・上昇難	18.8%
	3位	原材料価格の上昇	15.6%
建設業	1位	民間需要の停滞	26.9%
	2位	従業員の確保難	19.2%
	3位	取引条件の悪化／下請業者の確保難	11.5%
小売業	1位	需要の停滞	23.1%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	20.5%
	3位	販売単価の低下・上昇難	17.9%
飲食業	1位	需要の停滞	18.2%
	2位	利用者ニーズの変化への対応	15.9%
	3位	材料等仕入単価の上昇	13.6%
サービス業	1位	従業員の確保難	20.0%
	2位	需要の停滞	14.3%
	2位	新規参入業者の増加	14.3%

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(平成28年7月～9月期実績、平成28年10月～12月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

「売上額」「採算」の指標が好転、「資金繰り」の指標が悪化

今期の産業全体の景況は、売上高DIが-19.0、採算DIが-20.0、資金繰りDIが-18.0となり、対前期比で売上高DIは6.0ポイント、採算DIは2.0ポイント好転したが、資金繰りDIは-9.0ポイント悪化した。

次期は、売上額DI、採算DI、資金繰りDI、すべての指標が好転する見通しである。

業種別では、製造業、建設業ですべての指標が悪化した。小売業、サービス業は、売上高DI、採算DIが好転したが資金繰りDIは悪化した。飲食業は売上額DI、資金繰りDIが好転したが採算DIが悪化した。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-19.0% (対前期比 6.0好転)	次期予想	-18.0% (対前期比 1.0好転)
・採算DI	-20.0% (対前期比 2.0好転)	次期予想	-17.0% (対前期比 3.0好転)
・資金繰りDI	-18.0% (対前期比 -9.0悪化)	次期予想	-15.0% (対前期比 3.0好転)

産業全体景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
27年10月～12月 ※		-13.8%		-12.6%		-10.4%
28年1月～3月 ※		-20.0%		-13.7%		-12.5%
28年4月～6月 (前期)		-25.0%		-22.0%		-9.0%
28年7月～9月 (今期)		-19.0%		-20.0%		-18.0%
28年10月～12月 (見通し)		-18.0%		-17.0%		-15.0%

※28年1月～3月以前の指標は愛知県内にある商工会全体の指標です。

出典:愛知県商工会連合会 中小企業景況調査報告書(愛知県概略版)平成28年7月～9月期実績より